

第 10 回本試験ライティング問題 模範解答例

2016年7月27日に行われました、第10回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

(http://crowd-kentei.or.jp/about_test/about_web_writing_proficiency_exam/)

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、ご参考下さい。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】水族館について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】水族館ではさまざまな種類の水生動物を大きな空間で鑑賞できます。

キーワード1：体験

キーワード2：水槽

【模範解答 1】 279 文字

水族館ではスーパーなどで販売されているお馴染みの魚だけではなく、普段目にすることが難しいとされる深海の魚が泳いでいる姿を鑑賞することもできます。

また、水族館によってはペンギンやアシカなどの海獣ショーが見られたり、イワシなどの小魚にエサをあげられる体験ができたり、といったサービスが楽しめます。

水族館の大きな魅力は、やはりたくさんの魚が大きな水槽で泳ぐ姿を見ることが出来る点ではないでしょうか。まるで自分自身が海中にいるかのような視点で見る魚たちに目や心を奪われることでしょう。そして、クジラやサメ、マンボウなどの大型魚の迫力に圧倒されてしまうかもしれません。

【模範解答 2】 261 文字

水族館とは、家庭用あるいは大型の水槽に水生動物を生きのまま展示し、研究や鑑賞を目的とする施設である。日本では、現在はおおよそ 100 を超える水族館が開設されており、この数は他国の開設された水族館の数と比べてももっとも多いと言われている。

イルカやシャチ、アシカなどによるショーやエサやり体験などを行っている水族館もあり、これらが水族館の中心的なイベントとなっている事が多い。

水族館で展示されている水生動物は、魚介類をはじめとして、無脊椎動物、両生類、海獣類、爬虫類などが主になっており、その中でも大型の水生動物が人気を集めている。

【模範解答 3】 255 文字

水族館は老若男女問わず楽しめるスポットの1つといえるでしょう。

なかでも、海水魚の群れが泳ぐ大きな水槽が設置された水族館や、アシカやイルカのショーなどを行う水族館は人気があります。

このようにさまざまなイベントを開催し集客に力を入れる水族館は少なくありません。海辺に生息する生き物たちと触れ合えるコーナーを作ったり水族館に泊まりナイトツアーを開催したりと、さまざまな体験型のイベントや企画で集客を行っています。

このようなイベントに参加することで、今までとは違った水族館の楽しみ方に触れることができるかもしれません。

【問.2】 夏休みについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 夏になるとその暑さを凌ぐため、旅行の計画を立てる方は多くいることでしょう。

キーワード1：避暑地

キーワード2：ホテル

【模範解答 1】 252 文字

夏休みといっても一般的な会社員、学生など職業によって休暇日数に違いはありますが、夏の暑さを避けるため、夏休みを利用して避暑地に出かけられる方は多いのではないのでしょうか。

夏になると水がきれいな場所ではホテルがにぎわいを見せることがあります。一般的には6月中旬から7月下旬あたりがホテルを鑑賞できる時期となるため、初夏の風物詩を鑑賞できる土地に足を運ぶのも良いかもしれません。

また、仕事や学業、家事といった忙しい時間を忘れて静かな土地で過ごす時間は、例え少しの間でも心に安らぎをもたらしてくれることでしょう。

【模範解答 2】 273 文字

夏休みとは、主に夏の暑熱を回避することを目的として、教育機関や企業などで取り入れられている夏季休暇(休業)制度である。夏休みの間に英気を養い、休暇終了後に業務や学業に専念するための援護的な制度とされる。

夏休み期間は、企業や教育機関、地域によって異なる。7月から9月の間に夏休みが設定されていることがほとんどであり、一般的には海外旅行や夏でも過ごしやすい気候である標高が高い地域や緯度の高い土地を避暑地として訪れることが多い。

また、東北地方や北海道ではホテルが鑑賞できる時期と重なることがあるため、ホテル観賞を目的の1つとして

人が集まる場合もある。

【模範解答 3】 263 文字

夏休みの長期休暇を使い、避暑地などに旅行に出かける方は多くいらっしゃることでしょう。長野県の軽井沢や北海道の富良野などは避暑地としても人気が高く、夏になると多くの観光客が足を運ぶスポットになります。これらの有名な避暑地でなくとも穴場のスポットは数多く存在します。例えばホテルが生息するほどのきれいな川を眺めながら、夕涼みを楽しむのは夏休みの良い思い出になることでしょう。

このような穴場の避暑地や夏休みに出かけたい人気スポットなどは旅行サイトなどで簡単に調べることができますので、夏休みを楽しく過ごされてみてはいかがでしょうか。

【問.3】 かき氷について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 最近では、さまざまなトッピングを楽しめるボリューム感のあるかき氷が人気です。

キーワード1：行列

キーワード2：果物

【模範解答 1】 256 文字

夏の風物詩のひとつであるかき氷ですが、今では昔と比べて少し見た目に変化が起きています。

例えばさまざまな果物やアイスクリームなどをトッピングして、きれいに飾り付けられた氷のパフェのようなかき氷など、プラスアルファされたものが人気を集めるようになってきました。

また趣向を凝らしたかき氷を販売しているお店が続々と増えてきており、都心にある有名店では3時間待ちは当たり前といわれるくらいの行列ができたりしております。

このような趣向を凝らしたものなど種類が増えていくことにより、益々かき氷の人気に拍車がかかることでしょう。

【模範解答 2】 265 文字

かき氷とは氷や果汁などを凍らせたものを細かく砕いて、シロップをかけたり、果物などをのせたりする夏の風物詩といわれる氷菓である。

かき氷の歴史は古く、およそ1200年前の平安時代から存在し、清少納言も口にするとされている。この当時のかき氷は、氷を刃物で削り取り、あまづらという甘味料をシロップとしてかけて食した、と枕草子に記されている。

今のようなかき氷を作り出すための機器は明治時代に入った後に発明されたが、高価であったため、一般家庭に普及したのは昭和に入ってからである。

現代では海水浴の出店などで販売され、行列を作るほどの人気を博している。

【模範解答 3】 277 文字

かき氷は夏の風物詩の1つとしてあげられます。

イチゴやレモン、ブルーハワイなどのシロップをかけたかき氷は夏祭りや縁日の屋台などでも人気があります。しかし最近では、果物のシロップをかけた昔ながらのかき氷だけでなく個性豊かなかき氷が人気を集めています。なかでも、アスパラガスやアボカドなどの野菜をシロップとして使ったヘルシーなものや、お酒をかけてカクテルのように味わうものなど多種多様なかき氷が注目されているようです。

これらの新しいかき氷を一口味わいたいという人たちで行列ができる人気店があるほどです。夏の暑い日には是非ともかき氷を食べてみてはいかがでしょうか。

【問.4】 夏バテ対策について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*文字数は下にカウントされています。ご参考下さい。

*書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。

*この問題にキーワードはありません。自由に記述してください

【書き出し例文】 猛暑日が続くと体調をくずされる方が多いのではないのでしょうか。

【模範解答 1】 388 文字

暑い日が続くと食欲がなくなり、体が疲れやすくなることがあります。これは高温多湿な環境に体が対応できなくなることによって引き起こされる「夏バテ」の症状の1つです。

このような症状が長く続くと徐々に体力が失われ、食欲不振や不眠、全身の疲労感など体に悪影響を及ぼすことがあります。

健康的で快適な夏を過ごすためにも、夏バテで体力が失われる前に体調を回復させるための対策が必要です。

夏バテ対策としては、適度な水分補給とバランスのとれた食事をするのが重要です。

特に夏という時期は汗をかきやすいので、思わず大量に冷たい水分を摂取してしまいがちですが、過度の水分補給は逆に胃腸に負担がかかってしまいます。

胃腸に負担をかけてしまうと消化器官が弱まり、食欲不振につながってしまいますので、気をつけるようにしましょう。

また、ビタミン、ミネラル、たんぱく質を適度に摂取する食生活を心がけることが大切です。

【模範解答 2】 381 文字

夏バテとは、夏の暑い環境に起因した自律神経の乱れから引き起こされる体に悪影響を及ぼすさまざまな症状のことである。

夏バテを防ぐための対策としては、食生活を改める、室温を整えるなどの方法が一般的といわれている。

食生活では、タンパク質、ビタミン、ミネラルを摂取することが特に勧められており、炭水化物と同時にうなぎ、豚肉など、ビタミン B1、B2 を豊富に含むものを摂取することが望ましいとされる。

例えばミネラルは麦茶や野菜に多く含まれており、これらを日常的な食事に取り入れ、摂取することで夏バテ対策になるといわれている。

生活環境においては、室温は室外との温度差を 5 度以内に調整し、身体への負担を抑えることが重要である。

温度差による負担は心臓をはじめとした身体機能に大きな負担がかかり、特に急激な温度差がある場合は、脳卒中や心臓発作を引き起こす要因にもなるので注意が必要である。

【模範解答 3】 349 文字

夏バテとは、身体のダルさや食欲不振、倦怠感などの症状を指します。

一般的には水分やミネラルの不足、暑さによる食欲不振などが夏バテの原因とされています。

夏バテ対策として重要なことは、こまめな水分補給、栄養バランスのとれた食事、そして十分な睡眠です。

汗をかいたらスポーツドリンクなどで水分やミネラルを補給したり、ビタミン B やビタミン C が多く含まれた食品や野菜などを食べたりすることが良いとされています。

また、睡眠については扇風機やクーラーの冷風を直接体に当てないように心掛け、体を冷やさないことが大切です。

合わせて睡眠前にシャワーでなく湯船に入浴することでリラックスした深い眠りにつくことができます。

このように予防策を行うことで夏バテ対策ができますので、皆様も疲れを残さないよう、対策を打ってみてはいかがでしょうか。

ライティング問題-総評-

第10回 WEB ライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第10回 WEB ライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4択問題において、高得点の方とそうでない方との差が明白に確認できています。また、合格された方はほぼ満点でございました。4択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題でも、点数の二極化が確認できております。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会からご案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参照してご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習していただければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせていただきます。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問1 水族館について 240文字以上 300文字以内で記述してください。

キーワード1. 体験 キーワード2. 水槽

【解答例1】

「最近では、工夫を凝らして、さまざまな方法で楽しませてもらえます。」

上記の解答例では「主語」が省略されていて、理解しにくい文章となっています。

【修正例1】

「最近では、水族館が工夫を凝らして、さまざまな方法で来場者を楽しませてもらえます。」

上記修正例のように主語を入れるだけでも意味が伝わりやすい文章となります。

また、「来場者を楽ませるためにさまざまな工夫をしている水族館があります」などの表現にするとよりすっきりとした印象を与える文章になります。

作成した文章の見直しを行い、不自然な文章構成になっていないかを確認するよう心がけましょう。

【解答例2】

「魚やペンギンの泳ぐ姿をまじかに観察することができます。」

上記の解答例では「まじか（まちか/間近）」が誤字となります。また「することができます」という表現は意

味が重複しています。

【修正例 2】

「魚やペンギンの泳ぐ姿を間近に観察できます。」

一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 3】

「エサやりの体験ができたり、なでたりと子供も大人も楽しむことができます。」

上記の解答例では「主語」が省略されていて、理解しにくい文章となっています。

【修正例 3】

「アザラシのエサやり体験ができたり、イルカの背中をなでたりと子供も大人も楽しむことができます。」

上記修正例のように主語を入れることで意味が伝わりやすい文章となります。

【解答例 4】

「水族館は、遊園地やテーマパーク同様にどの年代にも楽しんでもらえる空間になっており、海水や淡水問わず色々な水生動物を見ることができる上に、一般的にはその動物たちを水槽を通してみるが、場所によっては実際手で触ったり体験できる場合もある。」

上記の解答例では一文の中に伝えたいことを詰め込み過ぎてしまい、意味が通りにくく、理解しづらい文章となっています。

【修正例 4】

「水族館は、遊園地やテーマパーク同様にどの年代にも楽しんでもらえる空間になっており、海水や淡水問わず色々な水生動物を見ることができ。一般的にはその動物たちは水槽を通して見るが、場所によっては実際手で触るなどの体験ができる場合もある。」

一文の中に伝えたいことを詰め込み過ぎてしまうのはよくありません。

不要な表現を削除する、文を分けるなどを行い、読みやすい文章構成を心がけましょう。

【解答例 5】

「水族館にはさまざまな海の生き物が飼育されています。子ども会のイベントや、デートスポットとしても利用されることが多いです。壁一面の巨大水槽が出迎えてくれます。」

上記の解答例では、短文が連続した文章になっており、「それに」、「また」などの接続詞がないため、箇条書きのような文章構成となっています。また「飼育さ(れ)ています」が脱字となります。

【修正例 5】

「水族館にはさまざまな海の生き物が飼育されており、壁一面の巨大水槽が来場者を出迎えてくれます。また、水族館は子ども会のイベントや、デートスポットとしても利用されることが多いです。」

上記修正例では、一部の文章を入れ替え、文と文の間に接続詞を記述しています。

短文が連続した文章は箇条書きのようになってしまい、文章としての質を落としてしまう場合がありますので十分に注意が必要です。また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

問2 夏休みについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1.避暑地 キーワード 2.ホテル

【解答例 1】

「夏の遊びをたのしめますし、大人は日頃のストレスを発散し、リラックスできることができますでしょう。」
「花火を楽しんでいるとどこからともなくチカチカと飛んでくるホテルに出会えるか可能性もあります。」

上記の解答例では1つの文章の中に「たのしい」と「楽しい」で表記ゆれがあります。また、「できることができます」と意味が重複した表現があります。

【修正例 1】

「夏の遊びを楽しめますし、大人は日頃のストレスを発散し、リラックスできますでしょう。」

誤字脱字もそうですが、表記ゆれについても文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 2】

「田舎でしか見ることのできない生物も多く存在します。なかなかお目にかかれないのが、ホテルです。人々に幻想的な風景を見せてくれます。」

上記の解答例では、短文が連続した文章となっており、「それに」、「また」などの接続詞がないため、箇条書きのような文章構成となっています。

【修正例 2】

「田舎でしか見ることのできない生物も多く存在します。その中でもなかなかお目にかかれないのが、ホテルです。ホテルは人々に幻想的な風景を見せてくれます。」

上記修正例では文と文の間に接続詞を記述しています。短文が連続した文章は、箇条書きのようになってしまい、文章としての質を落としてしまう場合がありますので十分に注意が必要です。

【解答例 3】

「夏休みといっても子供たちの夏休みから、普段なかなか休めないビジネスマンの夏休みと色々な夏休みがあり

ますが、都会の人々では特に暑さをしのぐ意味合いと、地方から上京してきた人達の日々の生活の疲れを癒す場所として避暑地が人気スポットの一つです。」

上記の解答例では一文の中に伝えたいことを詰め込み過ぎてしまい、意味が通りにくく、理解しづらい文章となっています。また一文に助詞の「の」が連続して使われています。

【修正例 3】

「夏休みといっても子供たちの夏休みから、普段なかなか休めないビジネスマンの夏休みと色々な夏休みがあります。都会に住んでいる方たちには暑さをしのぐ意味合いと疲れを癒す場所として避暑地は人気があります。」

上記では一部の表現を別の表現に置き換える修正を行いました。一文の中に伝えたいことを詰め込み過ぎてしまうのはよくありません。不要な表現を削除する、文を分けるなどを行い、同じ助詞の使用回数に注意しながら読みやすい文章構成を心がけましょう。

【解答例 4】

「塾の送り迎えやお弁当を作ったりとゆっくり旅行にいけなくなる家庭が多くなります。」

上記の解答例では、一文の中に「たり」が一度のみしか使用されていません。「たり」を使用する場合は一文の中に2回使用するようにしましょう。

【修正例 4】

「塾の送り迎えやお弁当作りに時間をとられ、ゆっくり旅行にいけなくなる家庭が多くなります。」

上記修正例を参考にして、「たり」を1回しか使用しないような場面は、別の表現などに置き換えるようにしましょう。

【解答例 5】

「しかし宿題・自由研究など課題も多く出されます。自由研究がなかなか進まないのも親御さんにとっては悩みの種です。旅行先で、体験日記を書くのも楽しいかもしれません。」

上記の解答例では、短文が連続した文章となっており、「それに」、「また」などの接続詞がないため、箇条書きのような文章構成となっています。

【修正例 5】

「しかし宿題・自由研究などの課題も多く出されます。これらの課題がなかなか進まないのも親御さんにとっては悩みの種かもしれません。そこで旅行先の体験日記を書いてみてはいかがでしょうか。」

上記修正例では文と文の間に接続詞を記述しています。短文が連続した文章は、箇条書きのようになってしまい、文章としての質を落としてしまう場合がありますので十分に注意が必要です。

問3 かき氷について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

【解答例 1】

「子どもの頃は、家にかき氷機があり、氷を削って、シロップをかけて食べたものです。」

上記の解答例では、一文が主観的な表現になっています。

【修正例 1】

「子どもの頃に、家にあるかき氷機で作ったかき氷を食べた経験がある方も多いのではないのでしょうか。」

修正例を参考にして、主観的な表現をしないように注意しましょう。

【解答例 2】

「しかし、最近のかき氷はお洒落でおいしいお店はがあり、行列ができるぐらいです。」

上記解答例では「お店はがあり」が誤字となります。

【修正例 2】

「しかし、最近のかき氷はお洒落でおいしいお店があり、行列ができるぐらいです。」

一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 3】

「いろんな果物のシロップから自分の好きなものを選べるところに人気の理由があります。」

上記解答例では「いろんな」は口語表現のため、「いろいろな」「さまざまな」などの表現を使用することが望ましいといえます。

【修正例 3】

「いろいろな果物のシロップから自分の好きなものを選べるところに人気の理由があります。」

口語と文語の混同は好ましくありません。上記解答例を参考にして、自然な文章作成を心がけましょう。また、見直しを行うことで間違いが見つかり、修正につながることも多いので、しっかりと見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「昔はいちごが定番でしたが、今では国内外の果物をベースにしたシロップが存在しています。」

上記解答例では「しています」が口語表現となります。この場合は文語表現の「しています」という表現を使用することが望ましいといえます。

【修正例 4】

「昔はいちごが定番でしたが、今では国内外の果物をベースにしたシロップが存在しています。」

口語と文語の混同は好ましくありません。上記解答例を参考にして、自然な文章作成を心がけましょう。また、見直しを行うことで間違いが見つかり、修正につながることも多いので、しっかりと見直しを行うようにしましょう。

【解答例 5】

「生の果肉がトッピングされていて、シロップにも生ピューレが使用されていて果物の味がとても濃厚でクセになるお店もあります。」

上記の解答例では「されていて」という表現が頻出しています。このような表現は稚拙な表現とみなされます。

【修正例 5】

「生の果肉をトッピングした上に、生ピューレが使用されたシロップがかかっているかき氷を出すお店もあります。果物の味がとても濃厚なかき氷などは評判が高いようです。」

上記修正例のように説明が必要な部分はきちんと説明し、理解しやすい文章を作成するように心がけましょう。

問 4 夏バテ対策について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「まず、考えらる原因としては、温度差があります。」

上記解答例では「考えらる（られる）」が誤字となります。

【修正例 1】

「まず、考えられる原因としては、温度差があります」

一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「だるくなったり、食欲不振になってしまい夏バテになる人が増えてきます。」

上記の解答例では「たり」の使用が 1 回のみとなっています

【修正例 2】

「だるくなったり、食欲不振になつてしまつたりと夏バテになる人が増えてきます。」

修正例のように「たり」は二度繰り返し使用するよう注意しましょう。

【解答例 3】

「夏本番になってくると外に出て立っているだけでも暑さに体力を奪われていきます。」

上記解答例では助詞の「に」が一文に3回使用されています。

【修正例 3】

「夏本番になってくると外に出て立っているだけでも暑さで体力を奪われていきます。」

上記修正例では、一部の表現を別の表現に置き換える修正を行いました。同じ助詞の使用回数に注意しながら文章作成を心がけましょう。

【解答例 4】

「クーラーの効いた涼しい部屋に一日中いると、外との温度の差に対応できなくて、夏バテになります。」

「1日仕事を終えて帰って来ても足のだるさか取れないという方は少なくありません。」

上記の解答例では1つの文章の中に「一日中」と「1日」で表記ゆれがあります。

【修正例 4】

「クーラーの効いた涼しい部屋に一日中いると、外との温度の差に対応できなくて、夏バテになります。」

「一日仕事を終えて帰って来ても足のだるさか取れないという方は少なくありません。」

表記ゆれは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 5】

「社会人だと夏場は飲み会が多くなるのではないかと思います。」

上記の解答例にある「思います」という表現は、主観的な表現となります。

【修正例 5】

「夏場は飲み会が多くなる社会人の方は多いのではないのでしょうか。」

上記修正例では、一部の表現を別の表現に置き換える修正を行いました。主観的な要素が強いと感想文のような文章になってしまいます。上記のように客観的な視点を交えて文章を作成するように心がけましょう。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方に共通する減点箇所としては、短文の連続使用や理解しにくい文章構成などが挙げられました。その他では、誤字脱字や、主観的な表現、口語表現と文語表現の混在などが目立っております。口語表現で文章を書くことで、助詞の連続使用や稚拙な表現など意図しないミスが多くなる場合があります。

ライティングを終えた際にはきちんと文章の見直しを行うことで、誤字脱字や間違った表現の有無を確認することができます。作成した文章は見直しをするように心がけましょう。